

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の減法の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の乗法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	分配法則を使って数と一次式の乗法及び同類項をまとめる等の計算ができること。			○		○	
④		(4)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	文字式に数を代入して、式の値を求めることができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と式	1年	A(1)ア 正の数と負の数の必要性和意味	正の数と負の数の意味を実生活の場面と結びつけて理解していること。				○	○	
⑥		(2)		関数	1年	C(1)オ 比例を用いて事象をとらえること	具体的な事象における変域の表し方を理解していること。				○	○	
⑦		(3)		数量関係	小4	D(4)ア 二つの観点から分類整理すること	二つの観点から物事を分類整理し、起こりうる場合を考えること。(平成29年度全学調小学校算数の改善状況をみる問題)		○				○
⑧		(4)		量と測定	小6	B(3)ア 角柱及び円柱の体積	円柱の体積を求める式について理解していること。				○	○	
⑨		(5)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	文字を用いた式で数量の関係を図と関連付けて理解していること。				○	○	
⑩		(6)		図形	小6	C(1)ア 縮図や拡大図	縮図を用いて、実際の長さの求め方を説明することができること。		○				○
⑪	3	(1)		数量関係	小6	D(4)イ 度数分布を表す表やグラフ	度数分布表から必要な情報を読み取り、柱状グラフに表すことができること。			○		○	
⑫		(2)		数量関係	小6	D(4)イ 度数分布を表す表やグラフ	2つの柱状グラフを比較して、読み取れることを根拠として、説明することができること。		○				○
⑬	4	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	具体的な事象における数量の関係に関心を持ち、問題を把握しようとしていること。	○					○
⑭		(2)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	式の意味を捉え、式が表している数量を説明することができること。		○				○
⑮	5	(1)		関数	1年	C(1)エ 比例の特徴	2つの数量の関係のグラフから比例の関係や特徴を読み取ることができること。			○		○	
⑯		(2)		関数	1年	C(1)エ 比例の特徴	比例の関係を、式で表すことができること。			○		○	
⑰		(3)		関数	1年	C(1)オ 比例を用いて事象をとらえ説明すること	比例の関係をを用いて、課題解決の方法を説明することができること。		○				○
⑱	6	(1)		数と式	1年	A(1)エ 具体的な場面で計算処理をすること	条件に応じて数を当てはめ、問題を解決しようとしていること。	○					○
⑲		(2)		数と式	1年	A(3)ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと	与えられた条件から簡単な一元一次方程式をつくり、それを解くことができること。			○		○	
⑳		(3)		数と式	1年	A(3)ウ 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること	具体的な場面で、一元一次方程式を活用して問題の解決方法を説明することができること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況をみる問題として出題しています。